Taka Ishii

Gallery

6-5-24 3F Roppongi Minato-ku Tokyo #106-0032, Japan
tel +81 (0)3 6434 7010
fax +81 (0)3 6434 7011
web www.takaishiigallery.com
email tig@takaishiigallery.com

荒木経惟

1940　東京都台東区生まれ

1963　千葉大学工学部写真印刷工学科写真映画専攻修了

東京在住

主な個展

2020　タカ・イシイギャラリー（東京）

2019　「月光写真」art space AM（東京）

「花曲」SHOP Taka Ishii Gallery（香港）

「ARAKI TELLER 死生」art space AM（東京）

「四面哀歌」art space AM（東京）

「Effetto Araki」Santa Maria Della Scala（シエナ、イタリア）

「LIFE BY FILM by Nobuyoshi ARAKI」Leica Gallery Bangkok（バンコク、タイ）

「夏幸福」art space AM（東京）

「花幽」Art Bridge 798 Art District（北京、中国）

「梅ヶ丘墓情」タカ・イシイギャラリー（東京）［カタログ］

「霊安冬春」art space AM（東京）

「銀塩女優　SUMMER XU」art space AM（東京）

2018　「涅槃少女」art space AM（東京）

「ImpossibleLove–VintagePhotographs」C/OBerlin（ベルリン、ドイツ）［カタログ］

「AI エレジー」art space AM（東京）

「片目」ラットホールギャラリー（東京）［カタログ］

「78 歳ノ写真夏」art space AM（東京）

「色盲老人 P」art space AM（東京）

「恋夢　愛無」タカ・イシイギャラリー（東京）［カタログ］

「情色花縛」LightSociety（北京、中国）

「花人生　Flower-Life」OvertheInfluence（ロサンゼルス、カリフォルニア州、アメリカ）

「VINTAGEPRINTS」タカ・イシイギャラリー ニューヨーク（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）［カタログ］

「天獄へのパスポート」art space AM（東京）

「The Incomplete Araki: Sex, Life, and Death」セックス美術館（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）

「阿写羅」art space AM（東京）

2017　「私、写真。」丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（香川）［カタログ］

「IMPOSSIBLE LOVE」C/O Berlin（ベルリン、ドイツ）

「Clouds, Flowers & Nudes Photographs 1975-2005」GALERIE JOHANNES FABER（ウィーン、オーストリア）

「27th Month of Photography November 2017 Bratislava」（ブラチスラヴァ、スロバキア）

「文化写真」art space AM（東京）

「ARAKI.TOKYO」Pinakothek der Moderne、Sammlung Moderne Kunst（ミュンヘン、ドイツ）

「ARAKI」Fondazione Bisazza（ヴィチェンツァ、イタリア）

「写真夏の昼の夢精」art space AM（東京）

「センチメンタルな旅、1971－2017－」東京都写真美術館（東京）［カタログ］

「東京は、秋」ギャラリー・アートグラフ（東京）

「花幽園」ラットホールギャラリー（東京）

「写狂老人 A」東京オペラシティ アートギャラリー（東京）［カタログ］

「東京墓情 荒木経惟×ギメ東洋美術館」シャネル・ネクサス・ホール（東京）［カタログ］

「花遊園」エプソンイメージングギャラリー エプサイト（東京）

「写狂老人 A 17.5.25 で 77 齢 後期高齢写」タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム（東京）［カタログ］

「THE SOLO EXHIBITION OF NOBUYOSHI ARAKI」Over The Influence Gallery（香港）

KYOTOGRAPHIE「机上の愛」建仁寺 両足院（京都）

「写狂老人 A アラーキー@ISETAN―後期高齢書―」伊勢丹新宿店アートギャラリー（東京）［カタログ］

「東京人生」キドプレス（東京）

「淫春」art space AM（東京）

「Last by Leica」art space AM（東京）

2016 「ARAKI AMORE」Galleria Carla Sozzani（ミラノ、イタリア）
「アラマメ」森岡書店銀座店（東京）［カタログ］
「机上の楽園」タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー パリ（パリ、フランス）
「写経老人 A 76 齢」タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム（東京）［カタログ］
「ARAKI」ギメ東洋美術館（パリ、フランス）［カタログ］

2015 「[illegible]」タカ・イシイギャラリー
フォトグラフィー/フィルム（東京）［カタログ］
「男―アラーキーの裸の顔」表参道ヒルズスペースオー（東京）［カタログ］
「ARAKI Ojo Shashu - Photography for the After Life: Alluring Hell」Foam 写真美術館（アムステルダム、オランダ）［カタログ］

2014 「荒木経惟 往生写集－東ノ空・PARADISE」資生堂ギャラリー（東京）
「往生写集－愛ノ旅」新潟市立美術館（新潟）
「左眼ノ恋」 タカ・イシイギャラリー（東京）［カタログ］
「往生写集― 顔・空景・道」豊田市美術館（愛知）［カタログ］

2013 「東京ブルース 1977」タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム （東京）［カタログ］
「色（エロ）女（リアル)」タカ・イシイギャラリー（東京）［カタログ］

2012 「センチメンタルな空」ラットホールギャラリー（東京）
「過去・未来 写狂老人日記 1979 年-2040 年」タカ・イシイギャラリー（東京）［カタログ］
「荒木経惟写真集展　アラーキー」IZU PHOTO MUSEUM（静岡）［カタログ］

2011 「愛の劇場」タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム（東京）［カタログ］
「写狂老人Aのフィルム・ノスタルジー」タカ・イシイギャラリー（東京）［カタログ］
「写狂老人日記」 タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム （東京）［カタログ］

2010 「センチメンタルな旅 春の旅」ラットホールギャラリー（東京）[カタログ]
「愛ノ時間」ライカ銀座店サロン（東京）
「古希ノ写真」タカ・イシイギャラリー（東京）［カタログ］
「少女世界」ギャラリー・ハシモト（東京）

2009　「遺作 空 2」 タカ・イシイギャラリー（東京）［カタログ］
「荒木経惟　広島ノ顔」広島市現代美術館（広島）
「69 猥景」タカ・イシイギャラリー（東京）［カタログ］

2008　「好色ペインティング」ラットホールギャラリー（東京）
「B/W bondage」Jablonka Galerie Berlin（ベルリン、ドイツ）［カタログ］
「花緊縛」タカ・イシイギャラリー（東京）［カタログ］

2007　「ARAKI GOLD」l'Istituto Nazionale per la Grafica - Palazzo Fontana di Trevi（ローマ、イタリア）［カタログ］
「67 反撃」タカ・イシイギャラリー（東京）［カタログ］

2006　「東京人生」江戸東京博物館（東京）［カタログ］
「青森ノ顔 縄文ノ顔」青森県立美術館（青森）
「色淫女」タカ・イシイギャラリー（東京）［カタログ］
「Nobuyoshi Araki」Galeria Enrique Guerrero（メキシコシティー、メキシコ）

2005　「Wanted: Dead and Alive - Works by the Genius Photo-maniac, Nobuyoshi Araki」ナンヤン・アカデミー・オブ・ファイン・アーツ（シンガポール）
「飛雲閣ものがたり」エプソンイメージングギャラリーエプサイト（東京）
「Flowers by Araki」エプソンイメージングギャラリーエプサイト（シンガポール）
「Nobuyoshi Araki Tokyo Nude」Yoshii Gallery（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）
「NOBUYOSHI ARAKI: Self, Life, Death」Barbican Art Gallery、（ロンドン、イギリス）［カタログ］
「日本人ノ顔 石川ノ顔」金沢 21 世紀美術館（石川）
「Kaori」Reflex New Art Gallery（アムステルダム、オランダ）

2004　「冬春」タカ・イシイギャラリー（東京）
「色情花 Painting Flower」エプソンイメージングギャラリー エプサイト（東京）［カタログ］

2003　「Tokyo Still Life」Tampere Art Museum（タンペレ、フィンランド）
「荒木経惟 鹿児島ノ顔」霧島アートの森美術館（鹿児島）
「ARAKI by ARAKI」タカ・イシイギャラリー（東京）

「NOBUYOSHI ARAKI」Roth Horowitz（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）

「日本人の顔プロジェクト『福岡の顔』」アジア美術館（福岡）

「アラキ・ビューティー」イル・テンポ（東京）

2002 「Nobuyoshi Araki」Reflex Modern Art Gallery（アムステルダム、オランダ）

「花人生」何必館、京都現代美術館（京都）／東京都写真美術館（東京）

「Tokyo Still Life」ヘルシンキ市立美術館（ヘルシンキ、フィンランド）

「The World of Nobuyoshi Araki」Galleria Civica Modena（モデナ、イタリア）

「Araki in Venice」Fondazione Querini Stampaglia （ベニス、イタリア）

「Suicide in Tokyo」padigline Italia, Giardini di Castello（ベニス、イタリア）

「小説ソウル」三菱地所アルティアム（福岡）

「小説ソウル 物語トーキョー」Ilmin Museum of Art（ソウル、韓国）

2001 「十勝平野喜怒哀楽」帯広美術館（北海道）

「東京スティル・ライフ」イコン・ギャラリー（バーミンガム、イギリス）

「小説ソウル」スパイラルホール（東京）

「ポラエロ」コオジ オグラ ギャラリー（名古屋）

「色情狂」タカ・イシイギャラリー（東京）［カタログ］

「花曲」HANASAKAN Cafe Gallery（鹿児島）

「花影」ギャラリー･アートグラフ（東京）

2000 「ラブポートレイト福生」エプソン イメージングギャラリーエプサイト（東京）

「世紀末ノ写真」東京日仏学院（東京）［カタログ］

「Nobuyoshi Araki」Damasquine Art Gallery（ブリュッセル、ベルギー）

「Nobuyoshi Araki」Galerie Kamel Mennour（パリ、フランス）

「Nobuyoshi Araki」Galerie Almine Rech（パリ、フランス）

「Nobuyoshi Araki」ステデリック現代美術館（ゲント、ベルギー）

「緑情 ポラエヴァシー」NADiff（東京）

「写真私情主義」タカ・イシイギャラリー（東京） ［カタログ］

「センチメンタルな旅」CENTRO PERL'ARTE CONTEMPORANEA LUIJI PECCI（プラート、イタリア）／パリ国立写真センター（パリ、フランス）

「花情」渋谷マークシティ（東京）

1999 「冬恋」TORU MAESHIMA GALLERY（和歌山）

「ARAKI NOBUYOSHI」イル・テンポ（東京）

「アラキネマ・LOVE」AIM Hall（東京）

「Alive」台北市立美術館（台北）；その後 Contemporary Gallery （バンクーバー、カナダ）；Gandy Gallery（プラハ、チェコ）：Galerie Bob Van Orsouw（チューリッヒ、スイス）へ巡回

「流石」タカ・イシイギャラリー（東京）

「アラキネマ・‘99 夏 台北」台北市立美術館（台北）

「アラキネマ・A の楽園」東京都現代美術館（東京）

「荒木経惟 センチメンタルな写真、人生。」東京都現代美術館（東京）

「Nobuyoshi Araki」Scalo Art Space（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）

1998 「A ノ楽園」新宿高島屋コンコースにて屋外展示（東京）

「Story Portraits」チュラロンコン大学（バンコク、タイ）

「アラーキーの純愛 COSMOSCO」タカ・イシイギャラリー（東京）

「アラキネマ・台北」読売カルチャーサロン青山（東京）／台北市立美術館（台北）

「アラキネマ・東京コメディ イン ウィーン」スパイラルホール（東京）

「A 人生」いきいき KAN 多目的ホール（富山）／タワーギャラリー（神奈川）／サッポロファクトリー（北海道）／イムズホール（福岡）

「Tokyo Nostalgia」Galleria Photology（ミラノ、イタリア）

「Portraits and Flowers」フォトグラファーズ･ギャラリー（ロンドン、イギリス）

「Nobuyoshi Araki: Tokyo」フルダ市立美術館（フルダ、ドイツ）

「The Past = Photographs 1972-73」Stadtisches Museum Leverkusen（レーヴァクーゼン、ドイツ）

「Tokyo Shijo」Deichtorhallen（ハンブルグ、ドイツ）

1997 「Nobuyoshi Araki」Gallery Studio Guenzani（ミラノ、イタリア）

「Nobuyoshi Araki」Gallery Starmch（クラカウ、ポーランド）

「アラキネマ・ウィーンと東京パラダイス」原美術館（東京）

「Arakinema: Tokyo Paradise」Wiener Secession（ウィーン、オーストリア）

「Tokyo Comedy」Wiener Secession（ウィーン、オーストリア）

「少女世界」イル・テンポ（東京）

「アラーキー・レトログラフス」原美術館（東京）

「花曲」JM ギャラリー（東京）

「Shikijo」Scalo Book Store（チューリッヒ、スイス）

「荒木経惟」Galerie Bob Van Orsouw（チューリッヒ、スイス）

「A 人生」勝毎ホール（北海道）／ラフォーレミュージアム原宿（東京）

1996 「近景」Blum & Poe（ロサンゼルス、カリフォルニア州、アメリカ）

「花の時間」エスパスタグホイヤー（東京）

「荒木経惟 The Face／The Death」Pace ildenstein and MacGill（ロサンゼルス、カリフォルニア州、アメリカ）

「FAKE LOVE」ギンザコマツ（東京）

「アラキネマ・花曲 2」玉川高島屋 SC アレーナホール（東京）

「アラキネマ・小説写真」スタジオ・モーリス（東京）

「墨汁奇譚」Jablonka Galerie（ケルン、ドイツ）

「花陰」ギャラリーイヴ（東京）

「東京小説」エッグギャラリー（東京）

「花 Flowers : Life and Death」西村画廊（東京）

「過去 1972-1973」Stadtsparkasse Münster（ムンスター、ドイツ）

「死現実」タカ・イシイギャラリー（東京）

「アラーキー 顔 VS 裸」スパイラルガーデン（東京）

1995 「東京小説」Kunstmuseum Wolfsburg（ウォルフスブルク、ドイツ）

「童貞ダッチョ君の天才画」スペースリンク（東京）

「荒木経惟：写真との出会い」Encontros de Fotografia（コインブラ、ポルトガル）

「さっちんの夏」ラフォーレミュージアム原宿（東京）

「アラキネマ：センチメンタルな旅・冬の旅」草月ホール（東京）

「A 日記／さっちんとマー坊」Galerie Chantal Crousel（パリ、フランス）

「平成元年 ランス 5 月祭」Le Garage（ランス、フランス）

「荒木経惟：私日記」カルティエ現代美術財団（パリ、フランス）

「Nobuyoshi Araki」Torch（アムステルダム、オランダ）

「エロトス」Galllery Index（ストックホルム、スウェーデン）; その後 Gallery Bang（オスロ、ノルウェー）; Forum; Stadtpark（グラーツ、オーストリア）へ巡回

1994 「猥褻写真展：墨汁奇譚と陰毛礼賛」タカ・イシイギャラリー（東京）［カタログ］

「東京キューブ：無意識の東京」White Cube（ロンドン、イギリス）

「アラキネマ・サマータイム」スタジオエビス（東京）

「東京ヌード／私日記」Luhring Augustine（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）

「アラキネマ・アラキトロニクス」スタジオ・モーリス（東京）

「空」ギャラリーイヴ（東京）

「私写真」Jablonka Galerie（ケルン、ドイツ）

「アラキネマ・私写真」有楽町朝日ホール（東京）

「私写真」有楽町朝日ギャラリー（東京）

「アラキネマ・猥褻写真」スタジオエビス（東京）

1993 「エロトス」パルコギャラリー（東京）

「愛の新世界」LA CAMERA（東京）

「写狂人色日記の世界」ウィズワンダーランド 6F（広島）

「東京日和」ギャラリヴェリタ（東京）

1992 「情事聴取：東京ファックス」アプトギャラリー（東京）

「物事：日替わり写真展 1000 点」P3 Art Environment（東京）

「アラキネマ・天使祭」パルコ劇場（東京）

「天使祭」パルコギャラリー（東京）／札幌パルコ（北海道）／心斎橋パルコ（大阪）

「クルマド・トーキョー」エッグギャラリー（東京）

「AKT-TOKYO 1971-1991」Forum Stadtpark（グラーツ、オーストリア）; その後 Galerie Fotohof, Mirabellpark（ザルツブルグ、オーストリア）; Galleria Museo, Bolzano（ボルツァーノ、イタリア）; Kunsthal Rotterdam（ロッテルダム、オランダ）; Museum Folkwang（エッセン、ドイツ）; Münchner Stadtmuseum（ミュンヘン、ドイツ）; Bregenzer Kunstverein（ブレーゲンツ、オーストリア）; Museet for Fotokunst（オーデンセ、デンマーク）; Noldliga Fotocentret（オウル、フィンランド）; Zone Gallery（ニューキャッスル、イギリス）; Galerie Bob Van Orsouw（チューリッヒ、スイス）へ巡回(-'95)

［カタログ］

「食事：Monochrome」ギャラリーイマジン（東京）

「写狂人日記」エッグギャラリー（東京）

1991 「色景」シードホール（東京）／生活創庫（名古屋）

「近景 2：花と裸がヤモリンスキー」アセンス（大阪）

「ジャンヌ」新潮社野外アートスペース（東京）／ハートランド（静岡）

「近景」細見画廊（東京）

「アラキネマ・春景」シネマライズ渋谷（東京）

「移動 ナビの舞う空」エッグギャラリー（東京）

「A's Nude Exhibition：恋人」アプトギャラリー（東京）

「冬の旅」エッグギャラリー（東京）

1990 「冬へ」エッグギャラリー（東京）

「東京ラッキーホール」アプトギャラリー（東京）

「アラキネマ：東京ヌード」紀伊國屋ホール、土方巽記念アスベスト館（東京）

「FOTO TANS」新宿コニカプラザ（東京）

「空景」ギャラリヴェリタ（東京）

「アラキネマ・空景」日本出版クラブ会館（東京）

「愛しのチロ」池袋ブックセンターリブロ（東京）

1989 「NOBUYOSHI ARAKI '89：厳選オリジナルプリント展」ギャラリー光彩（東京）

1987 「愛の部分」アートスペース美蕾樹（東京）

「ARAKISM 1967-1987」ツァイト・フォト・サロン（東京）

「傀儡王子抄」スパイラルホール（東京）

「アラキネマ 2」スタジオ MAG（東京）

1986 「フォトライブ：東京劇場'86」サッポロビアファクトリー（東京）

「アラキネマ・東京物語」シネマライズ渋谷（東京）

「SHIBUYA STREET」ドイフォトプラザ（東京）／INAX 福岡ショールーム（福岡）

「アラーキー シブヤをアッジェする」K's Bar（東京）

「A's 色情日記」ツァイト・フォト・サロン（東京）

1985 「惜しみなく愛を奪う」キッチンラーメン（東京）

「シネフォトグラフの女たち」バー・リフレイン（東京）

「偽少女物語」バー・ニューダグ（東京）

「不倫な女」K's Bar（東京）

1984 「バルテュスの夏」ピクチャー・フォト・スペース（大阪）

「少女世界」ツァイト・フォト・サロン（東京）

1982　「第 3 回 アラーキズム宣言」朝日生命ホール（東京）
「愛の嵐 ARAKI」ドイフォトプラザ渋谷（東京）
「私が写真だ」ドイフォトギャラリー（東京）

1981　「偽女高生リカ」新宿闇市ショップ（東京）
「第 2 回 アラーキズム宣言」ヤマハホール（東京）

1980　「アラーキズム宣言」ニューヨーク・シアター（東京）
「真夏の夜の夢精・そして終戦記念日」紀伊国屋画廊（東京）
「無論（ナイロン）100%」ナイロン 100%（東京）
「虚実ツィゴイネルワイゼン」紀伊国屋フォトスペース（東京）
「最新の写真展」原田ビル 301 号室（東京）
「偽写真展」原田ビル 301 号室（東京）

1979　「ニューヨーク初体験」ミノルタフォトスペース（東京）／帯広ビルギャラリー（北海道）

1978　「センチメンタル・エロロマン：女優たち」芳林堂アートスペース（東京）
「裔像」CAMP（東京）
「私景 1940-1977」銀座キャノンサロン（東京）

1977　「東京ブルース」銀座ニコンサロン（東京）／大阪ニコンサロン（大阪）
「今年の写真」白樺画廊（東京）
「去年の写真」白樺画廊（東京）

1976　「私東京'76」紀伊国屋画廊（東京）
「わが愛・陽子」銀座ニコンサロン（東京）

1975　「女優 関村妃」ミノルタフォトスペース新宿（東京）

1974　「写真・ビデオそして映画による女優たち展」ギャラリー・マットグロッソ（東京）

1973　「廃墟に花」シミズ画廊（東京）
「偽ドキュメンタリー・ハロゲン化銀汚染写真展：蝉の声」紀伊国屋画廊（東京）

1970　「シュールセンチメンタリズム宣言 2：カルメン・マリーの真相」楪画廊（東京）
「連続写真展：キッチンラーメン・エロリアリズム」キッチンラーメン（東京）

1967　「動物園」三菱電機ギャラリー（東京）
「銀座」三菱電機ギャラリー（東京）

1966　「中年女」三菱電機ギャラリー（東京）
「地下鉄」三菱電機ギャラリー（東京）

1965　「さっちんとマー坊」新宿ステーションビル（東京）

主なグループ展

2019　「GRADATION 代官山」Tenoha Daikanyama（東京）
「Survived!」タカ・イシイギャラリー（東京）［カタログ］
「Character Study」Ratio 3（サンフランシスコ、カリフォルニア州、アメリカ）
「Japanese Photography – 1930s - 1970s」Mai 36（チューリヒ、スイス）
「The Gaze of Things: Japanese Photography in the Context of Provoke」Bombas Gens Centre d’Art（ヴァレンシア、スペイン）［カタログ］
「PARERGON: JAPANESE ART OF THE 1980S AND 1990S」Blum & Poe（ロサンゼルス、カリフォルニア州、アメリカ）

2018　「東京スケイプ Into the City」世田谷美術館 （東京）
「Feast for the Eyes」Louisiana Museum of Art and Science（バトンルージュ、ルイジアナ州、アメリカ）；その後 Foam 写真美術館（アムステルダム、オランダ）；C/O Berlin（ベルリン、ドイツ）へ巡回［カタログ］
「Foreign Bodies」Raster（ワルシャワ、ポーランド）
清里フォトアートミュージアム収蔵作品展 「原点を、永遠に。－2018－」東京都写真美術館（東京）

2017　「Japanorama: New vision on art since 1970」Centre Pompidou-Metz（メッス、フランス）
「MÉMOIRE ET LUMIÈRE: PHOTOGRAPHIE JAPONAISE, 1950-2000」Maison européenne de la photographie（パリ、フランス）

2016 「総合開館 20 周年記念 TOP コレクション 東京・TOKYO」東京都写真美術館（東京）［カタログ］
「Japanese Photography from Postwar to Now」San Francisco Museum of Modern Art（サンフランシスコ、カリフォルニア州、アメリカ）
「Provoke: Photography in Japan between Protest and Performance, 1960–1975」Albertina（ウィーン、オーストリア）；その後 Fotomuseum Winterthur（チューリッヒ、スイス）；Le Bal（パリ、フランス）；The Art Institute of Chicago（シカゴ、イリノイ州、アメリカ）へ巡回［カタログ］

2015 「Up Close: Erotic Japanese Photography」The Space（香港）［カタログ］
「For a New World to Come: Experiments in Japanese Art and Photography, 1968–1979」ヒューストン美術館（ヒューストン、テキサス州、アメリカ）；その後 Grey Art Gallery（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）；Japan Society（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）へ巡回［カタログ］
「タカハシコレクション展 ミラー・ニューロン」東京オペラシティ アートギャラリー（東京）［カタログ］

2014 「Conflict, Time, Photography」テートモダン（ロンドン、イギリス）；その後 Museum Folkwang（エッセン、ドイツ）；Staatliche Kunstsammlungen Dresden（ドレスデン、ドイツ）へ巡回［カタログ］
「unseen existence」香港アートセンター（香港）
「Japon」Abbaye Saint-André（メマック、フランス）

2013 「Self (S)sexpression: Unseen Vintages」Galerie Bob Van Orsouw（チューリヒ、スイス）
「高橋コレクション マインドフルネス！」霧島アートの森（鹿児島）；その後 札幌芸術の森美術館（北海道）へ巡回［カタログ］
「花小説」西脇市岡之山美術館（兵庫）
「アートがあればⅡ」東京オペラシティ アートギャラリー（東京）
「ふたたびの出会い IZU PHOTO MUSEUM コレクション展」IZU PHOTO MUSEUM（静岡）
「LOVE 展 : アートにみる愛のかたち―シャガールから草間彌生、初音ミクまで」森美術館（東京）［カタログ］
ギャラリーオープニング展「ジャパニーズ・フォトグラフィー 戦後 – 現在」タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム（東京）

「t-shirts」タカ・イシイギャラリー モダン（東京）

2012　「カルペ・ディエム – 花として、今日を生きる」豊田市美術館（愛知）［カタログ］

2011　「nAcKt. Newton & Araki」Museum der Moderne Mönchsberg（ザルツブルク、オーストリア）
「ヨコハマトリエンナーレ 2011OUR MAGIC HOUR 世界はどこまで知ることが出来るか？」横浜美術館（神奈川）［カタログ］

2009　「荒木経惟・舟越桂　至上ノ愛像」高橋コレクション日比谷（東京）［カタログ］

2008　「Asian Dub Photography」Fondazione Cassa di Risparmio di Modena（モデナ、イタリア）
「Dark Side」Fotomuseum Winterthur（ヴィンタートゥール、スイス）
「the art of japan | past - present - future araki meets hokusai & kumi machida」kestnergesellschaft（ハノーバー、ドイツ）［カタログ］
「アートは心のためにある：UBS コレクションより」森美術館（東京）
「READ MY LIPS」Peres Projects Berlin（ベルリン、ドイツ）

2007　「EYES OF AN ISLAND, A survey of Japanese Photography, 1945-2007」Michael Hoppen Gallery（ロンドン、イギリス）
「¿Qué pasa con las flores?」Galeria Pepe Cobo（マドリッド、スペイン）
「Les Autres」Ratio 3（サンフランシスコ、カリフォルニア州、アメリカ）

2006　「A Lover's Discourse」Peres Projects（ロスアンゼルス、カリフォルニア州、アメリカ）

2005　「RISING SUN, MELTING MOON, Contemporary Art In Japan」The Israel Museum（エルサレム、イスラエル）
「ウナセラ・ディ・トーキョー ANOHI ANO TOKIO 残像の東京物語 1935～1992」世田谷美術館（東京）
「コンタクト・新宿・トリミング」NADiff（東京）
「森山・新宿・荒木」東京オペラシティ アートギャラリー（東京）［カタログ］
「地球を生きる子どもたち」Bunkamura ザ・ミュージアム（東京）

2004　「クラブ・パラディーソ 写真をめぐる愉しみ」清里フォトアートミュージアム（山梨）

「イン・ベッド［生命の美術］Images from a Vital Stage ピカソ、ボイスからアラーキー、ビル・ヴィオラまで」豊田市美術館（愛知）

「Flower as Image-From Monet to Jeff Koons」Lousiana Museum of Modern Art（フムレベック、デンマーク）

「Rose c'est la vie: On Flowers in Contemporary Art」Tel Aviv Museum of Art（テルアビブ、イスラエル）

「The 9. International Exhibition of Architecture METAMORPH」（ヴェネチア、イタリア）

「10 Year Anniversary Exhibition」タカ・イシイギャラリー（東京）

「I, ASSASSIN」Wallspace Gallery（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）

「The Beauty of Darkness」Reflex New Art Gallery（アムステルダム、オランダ）

「大阪・アート・カレイドスコープ OSAKA 04 春・花・生—21 世紀の芸術と生命の交差」大阪府立現代美術センター海岸通ギャラリー・CASO（大阪）

2003 「ハピネス 森美術館開館記念展」森美術館（東京）

「PHANTOM DER LUST」NEUE GALERIE（グラーツ、オーストリア）

「Japon 1945-1975」patrimoine photographique（パリ、フランス）

「Gallery Artists」タカ・イシイギャラリー（東京）

2002 「アジア写真ビエンナーレ 2002」ギャラリー・ラ・マール（ソウル、韓国）

2001 「FACT OF LOVE」Hayward Gallery（ロンドン、イギリス）

「1St Valencia Biennial: Communication Between The Arts」（ヴァレンシア、スペイン）［カタログ］

「メイプルソープ＆アラーキー　百花乱々」新津市美術館（新潟）: その後 小田急美術館（東京）; 美術館「えき」KYOTO（京都）; 大分県立美術館（大分）

2000 「GENDAI-Japanese Contemporary Art-Between the Body and Space」Center for Contemporary Art, Ujadowski Castle（ワルシャワ、ポーランド）

1999 「Collected Works Contemporary Art since 1968」Kunstmuseum Wolfsburg（ヴォルフスブルク、ドイツ）

「Exposition de la Collection de la Fondation Cartier」Centre Culture de Belem（リスボン、ポルトガル）

「Sxenenwechsel XV」Museum fur Moderne Kunst, Frankfurt am Main（フランクフルト、ドイツ）

1998 「Under/Exposed」Tunnelbana Matro U bahn（ストックホルム、スウェーデン）

「Life is a bitch」De Appel（アムステルダム、オランダ）

「Fetishes a Fetishism」Passage de Retz（パリ、フランス）

「写真－可能性のかたち　ドイツ・ディージー銀行コレクション」原美術館（東京）

「幻想植物展」平塚市美術館（神奈川）

「Photo Diary」Art Pavilion Zagreb（ザグレブ、クロアチア）

「Fuori Uso: 1998 Mostrato」Associazione Culturale Arte Nova Pescara（ペスカーラ、イタリア）

「Life, Border, Line」Galerie Paul Andriesse（アムステルダム、オランダ）

「Nuit blanche」Musee d'Art modern de la Ville de Paris（パリ、フランス）; その後 Porin Tade Museo Pori（フィンランド）; Göteborgs konstmuseum（ヨーテボリ、スウェーデン）; Bergen Billedgalleri Rasmus Meyers Samlinger（ベルゲン、ノルウェー）へ巡回

「Car Culture 20 世紀写真に見る車社会」清里フォトアートミュージアム（山梨）

「欲望場域 台北ビエンナーレ」台北市立美術館（台北）

「超日常／7 人の日本の現代美術」上海市美術館（上海、中国）

「広重とアラーキー」ジャポニスム美術館（静岡）

「写真の未来学」エプソンイメージグギャラリーエプサイト（東京）

「淫光写 ARAKI vs WEEGEE」ギャラリーHAM（愛知）

「冬恋」佐谷画廊（東京）

「Filtre」Galerie Almin Rech（パリ、フランス）

1997 「第 33 回 今日の作家展 都市の情景・複数性のなかの単一性」横浜市民ギャラリー（神奈川）

「Cities on the Move」Wiener Secession（ウィーン、オーストリア）; その後 Musee d'art contemporain de Bordeaux（ボルドー、フランス）; PS1（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）; Louisiana Museum of Modern Art（フムレベック、デンマーク）; Hayward Gallery（ロンドン、イギリス）へ巡回

「揺れる女／揺らぐイメージ フェミニズムの誕生から現代まで」栃木県立美術館（栃木）

「SHASHIN 展」神戸ファッション美術館（兵庫）／三越美術館・新宿（東京）／福岡県立美術館（福岡）

「荒木経惟＆ラリー・クラーク」タカ・イシイギャラリー（東京）

「Du construit du paysage」Centre Regional d'art contemporain（セット、フランス）

「Amours」カルティエ財団現代美術館（パリ、フランス）

「第 10 回 国際イメージ・ビエンナーレ」アンドレ・マルロー文化センター（ヴァンドゥーヴル＝レ＝ナンシー、フランス）

「Lust and Leere (Desire and Void)」Kunshalle Wien（ウィーン、オーストリア）; その後 ARKEN Museum for Moderne Kunst（イスホイ、デンマーク）; Kunsthalle zu Kiel（キール、ドイツ）へ巡回

「Nobuyoshi Araki, Diane Arbus, Nan Goldin」Sammlung Goetz（ミュンヘン、ドイツ）

「花淫」ギャラリー小柳（東京）

「The Dead」Horsens Museum（ホーセンス、デンマーク）

1996 「Nobuyoshi Araki and Michiko Kon」Center for Photographic Art（カーメル、インディアナ州、アメリカ）

「Szenenwechsel X」Museum fur Moderne Kunst, Frankfurt am Main（フランクフルト、ドイツ）

「Nobuyoshi Araki, Thomas Struth, Christopher Williams, Larry Clark」バーゼル美術館（バーゼル、スイス）

「Sex and Crime」Sprengel Museum（ハノーヴァー、ドイツ）

「Prospect ‘96」Museum fur Moderne Kunst, Frankfurt am Main（フランクフルト、ドイツ）

1995 「Carnegie International 1995」カーネギー美術館（ピッツバーグ、ペンシルベニア州、アメリカ）

「Site of Being」ICA Boston（ボストン、マサチューセッツ州、アメリカ）

「The Dead」National Museum of Photography, Film & Television（ブラッドフォード、イギリス）; その後 ホーセンス美術館（ホーセンス、デンマーク）へ巡回

「The Act of Seeing (Urban Space), Taking a Distance」Fondation pour l’Architecture（ブリュッセル、ベルギー）

「Vision of Hope and Despair」シカゴ現代美術館（シカゴ、イリノイ州、アメリカ）

「Texture and Touch: Contemporary Photography from Japan」ニューサウスウェールズ美術館（シドニー、オーストラリア）

「GINZABOUT」ザ・ギンザ アートスペース（東京）

「日本の現代美術 1985-1995」東京都現代美術館（東京）

1994 「空間・時間・記憶_Photography and Beyond in Japan」原美術館（東京）; その後 ルフィーノ・タマヨ美術館（メキシコシティ、メキシコ）; バンクーバー美術館（バンクーバー、カナダ）; ロサンゼルス・カウンティ美術館（ロサンゼルス、、カリフォルニア州、アメリカ）; コークラン・ギャラリー・オブ・アート（ワシントン DC、アメリカ）; デンバー美術館（デンバー、コロラド州、アメリカ）; ホノルル現代美術館（ホノルル、ハワイ州、アメリカ）（-'95）

「彼岸から」東京デザインセンター（東京）

「Tokyo Love」ザ・ギンザ アートスペース（東京）

「荒木経惟×世界異才写真展」スパイラルホール（東京）

「Portrait」Galerie Samia Saouma, Paris, France

「Liquid Crystal Futures」The Fruitmarket Galery（エディンバラ、イギリス）; その後 ヨーロッパ、 東京を巡回

「KARADA が ART になるとき（物質になった器官と身体）」板橋区立美術館（東京）

「人間の条件」スパイラルホール（東京）／芦屋市立美術博物館（兵庫）

「Body and memory: Nobuyoshi Araki and Larry Clark」Sala Parpllo（ヴァレンシア、スペイン）

1993 「肉体のイメージ」フランクフルト芸術協会（フランクフルト、ドイツ）

「日本の現代写真家」チューリヒ美術館（チューリヒ、スイス）

「ブルータス 絶対裸体 2」原宿ラフォーレミュージアム・エスパス（東京）

「荒木経惟、ソフィ・カル、ラリー・クラーク、ジャック・ピアソン」Luhring Augustine（ニューヨーク、、ニューヨーク州、アメリカ）

「ラヴ・ユー・トーキョー」世田谷美術館（東京）

1991 「日本の写真 1970 年代：凍結された＜時＞の記憶」東京都写真美術館（東京）

1990 「Photos de Famile」La Vilete（パリ、フランス）

「東京－都市の視線」東京都写真美術館（東京）

1989 「11 人の 1965-75　日本の写真は変えられたか」山口県立美術館（山口）

1986 「Forografia Japonesa Contemporanea」Casa Elizalde（バルセロナ、スペイン）; その後 スペイン主要都市を巡回

1985 「dumont foto 5: Die Japanische Fotografie」Museum fur Kunst und Gewerbe（ハンブルク、ドイツ）

「パリ・ニューヨーク、（東京）」つくば写真美術館'85（茨城）／宮城県立美術館（宮城）

1983 「現代日本の美術 2 ：風景との出会い 私風景'83 初夏」宮城県立美術館（宮城）

「6 x 7 の女」ツァイト・フォト・サロン（東京）

1979　「Japan: A Self Portrait」ICP（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）

1976　「Neue Fotografie aus Japan」Kulturhaus der Stadt Graz（グラーツ、オーストリア）；その後ウィーン、オーストリア；シュトゥットガルト、西ドイツへ巡回（-‘78）

「12 人の写真家による自選作品展」資生堂ザ・ギンザ（東京）

1974　「15 人の写真家」国立近代美術館（東京）

「写真から写真へ」ギャラリー・マットグロッソ（東京）

「写真についての写真展」シミズ画廊（東京）

1972　「第 11 回 現代日本美術展：ある夏の日の光景」東京都美術館（東京）ほか巡回

1971　「複製写真」紀伊國屋ギャラリー（東京）

「第 10 回 現代日本美術展：愛の部屋」東京都美術館（東京）ほか巡回

受賞歴

2012　第 54 回毎日芸術賞・特別賞

第 6 回安吾賞

2008　オーストリア科学・芸術勲章

1994　日本文化デザインフォーラム大賞

1991　第 7 回東川賞

1990　日本写真協会年度賞

1964　第 1 回太陽賞

パブリック　コレクション

ARKEN Museum for Moderne Kunst（デンマーク）

Art Gallery of New South Wales（シドニー、オーストラリア）

Centre National des Arts Plastiques（パリ、フランス）

ポンピドゥー・センター（パリ、フランス）

熊本市現代美術館（熊本）

Deutsche Bank, Frankfurt am Main（フランクフルト、ドイツ）

Deutsche Börse, Frankfurt am Main（フランクフルト、ドイツ）

Fondation Cartier pour l'art contemporain（パリ、フランス）

フランス国立現代芸術基金（パリ、フランス）

Fotomuseum Winterthur（ヴィンタートゥール、スイス）

サンドレット・レ・レバウデンゴ財団現代美術館（トゥリン、イタリア）

原美術館（東京）

IZU PHOTO MUSEUM（静岡）

川崎市民ミュージアム（神奈川）

Kunsthalle Winterthur（ヴィンタートゥール、スイス）

Kunstmuseum Wolfsburg（ヴォルフスブルク、ドイツ）

M+（香港）

Maison Européenne de la Photographie（パリ、フランス）

Musée des beaux-arts de Montréal（モントリオール、カナダ）

モデナ市近代美術ギャラリー（モデナ、イタリア）

ザルツブルク近代美術館（ザルツブルク、オーストリア）

Museum Moderner Kunst Stiftung LudwigWien（ウィーン、オーストリア）

フランクフルト近代美術館（フランクフルト、ドイツ）

東京都現代美術館（東京）

クラクフ国立美術館（クラクフ、ポーランド）

新潟市美術館（新潟）

Peter Norton Collection (テート、ロンドン、イギリス）

Pinakothek der Moderne（ミュンヘン、ドイツ）

Queensland Art Gallery / Gallery of modern Art（クイーンズランド、オーストラリア）

サンフランシスコ近代美術館（サンフランシスコ、カリフォルニア州、アメリカ）

Sammlung Götz（ミュンヘン、ドイツ）

Sammlung Hoffman（ベルリン、ドイツ）

世田谷美術館（東京）

Stedelijk Museum Amsterdam（アムステルダム、オランダ）

テート（ロンドン、イギリス）

Telenor Foundation（ノルウェー）

イスラエル博物館（エルサレム、イスラエル）

ロサンゼルス現代美術館（ロサンゼルス、カリフォルニア州、アメリカ）

ヒューストン美術館（ヒューストン、テキサス州、アメリカ）

ニューヨーク近代美術館（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）

東京都写真美術館（東京）

豊田市美術館（愛知）

UBS コレクション（チューリッヒ、スイス）

山口県立美術館（山口）

横浜美術館（神奈川）